# 進路だより



富岡特別支援学校 移行支援部 No. 2 令和7年7月10日(木)

**PTA進路研修会「本校卒業生とご家族の話を聞いて、将来へのイメージを広げよう」**がありました。 講師に本校卒業生と、卒業生のお母様お二人にお越しいただき、これまでから現在の生活、将来のため に備えていることなど、詳しくお話ししていただきました。一部をご紹介します。

# 幼少期から学生時代の思い出

- ・風邪をひきやすく、肺炎になり毎月のように入院し病院でお世話になっていました。24時間の点滴、鼻の吸引、偏食など・・・つらいことも多かった幼少期でしたが、持ち前のスマイルで乗り越えてきました。
- ・小学校・中学部では、体力を向上させたい、自分でしっかり歩けるようになってほしいという親の思いから、父親と歩いて登校しました。
- ・ 高等部では日常生活の自立を目標にし、 3年間寄宿舎でお世話になりました。
- ・修学旅行と学習発表会が思い出に残っています。
- ・幼少期は噛みつきがひどく、いつでも噛めるよう服に虹色のチューブを付けて登園していました。
- ・高等部2年時、原因不明の貧血から、骨髄の検査や輸血のため1週間入院しました。コロナ禍で親の付添いができませんでした。最初は採血注射ができず、大人3人で押さえつけていましたが、自ら腕を出し、注射ができるようになりました。

## きょうだいとの関係について

- ・幼少期の頃は、姉には寂しい思いをさせてしまうことが度々ありました。今は帰省すると一緒に出かけてくれます。弟は、小学校高学年から一緒に過ごす時間の共有ができていたように思います。中学生になると、生活の中で気になることを柔らかく指摘してくれます。
- ・幼少期の頃は、姉に手を出したり姉の大切な物を壊したりして心配しましたが、今は本人が成長し落ち着きました。姉は母の不在時に入浴介助をしてくれます。弟は母の不在時に、本人のそばで寝てくれます。

#### 現在の仕事や利用している事業所について

# 【富岡市役所(会計任用職員)】

- ・月曜~金曜9:00~16:00。運転免許と車はありますが、運動のため徒歩で通勤しています。
- ・パソコン上で毎日のスケジュールを示してもらっていて、自分で予定どおりに仕事しています。数週間 先まで予定が決まっており、それ以外の隙間時間でやることは、その都度教えてもらっています。
- ・仕事内容は、研修やイベントの会場設営、資料の印刷作業、アンケート集計、編集、
- パソコン入力作業、選挙の準備・片付け、書類整理、ファイリング、草むしり、ゴミまとめ、ゴミ出し等。
- ・仕事で楽しいことは、会場準備など、一人でできないことを、職員の皆さんと一緒に作業しているときです。仕事で大変なことは、力仕事です。重い物を運ぶと、足腰にきます。

# 【株式会社ワンセルフ ワンセルフくろかわ (生活介護)】

- ・週3日利用。通所方法は、行きは母の送り、帰りは送迎サービス利用。
- ・月ごとのスケジュールに沿って自立活動や余暇活動をしています。
- ・事業所の方とはノートや送迎時の会話で連絡をとっています。



# 【社会福祉法人青嵐会 せいらん(生活介護)】

- ・週3日利用。通所方法は、事業所の送迎バス利用。バス停までは、母の送迎。
- ・作業内容は、芯入れ、ヒートシンク並べ、紙類やラップの処理。工賃をもらっています。
- ・高等部で現場実習をしたことを覚えていたので、卒業後はスムーズに移行できました。

## 【株式会社ソレイユ ジョブカラフル松井田 (就労継続支援B型)】

- ・月曜~金曜通所。送迎サービス利用。
- ・仕事内容は、レタスの水耕栽培、納品、販売、果樹園の除草作業。余暇活動ではたくさん歩いています。
- ・学生生活よりも帰宅時間が早くなり、私用の時間が増えました。自分で洗濯をしたり、入浴で気分をリフレッシュしたりしています。

# 障害基礎年金について

- ・保護者が書く申立書は、幼少期から思い出して記入するのが大変でした。
- ・年金は受給していないので、なるべく無駄遣いしないようにしています。給料の一部を毎月家に入れていて、他は貯金しています。

# 性に関すること

- ・父親が学校での研修会に参加しました。自宅では父親から話をして関わっていることが多いです。
- ・人前では触らない(トイレ、自宅の風呂、自分の寝室のみ)。
- ・外出先などで落ち着かない様子があると、多目的トイレに連れて行きます。必ずドアの外まで同行しています。

#### 親なき後に備えていること

- ・グループホームへの入所の申し込み、空き待ち
- 施設入所
- ・成年後見人の準備
- ・健康な体を維持、生活習慣病の予防、衛生面(疾患予防、虫歯予防)、社会生活でのマナー

# 困った時に頼ったり相談したりしている人や、利用しているサービス

- ・かかりつけの主治医
- ・相談支援事業所の相談支援員

# 在学中のお子様がいる保護者の皆様に向けたメッセージやアドバイス

- ・いつもお疲れ様です。これまで成長の節目に環境が変わることで本人の戸惑いもありましたが、親子で「挑戦心」をもって挑み、それを助け支えてくださる方々がいました。本人の成長へとつながりました。
- ・悩みなどがあった時には医師や専門知識をもった方々に早めに相談できる場所があったことで本人との 関わりに迷いが少なくなりました。



 $\square =$ 



・これからも大変なことに悩み、決断しなくてはならないことがあると思います。支え、助けてくれる人はいます。頑張りすぎず、泣きたいときは泣いて、楽しいときは笑って、吐き出したいときは吐き出して、お互い体を大事にしましょう。

# 参加した保護者の感想

- ・皆さんポジティブにお子さんと関わっていて素晴らしいです。座談会もとてもよかったです。
- ・勇気を出して参加し、同じ様な症状の障がいをもつお子様の親御さんから、話を聞け、自分の子供にも そんな未来があるのかもと気付かされました。私も『目一杯でその日暮らしの今』を一日一日積み重ねな がら、必要な情報ややるべき事を落とさず、目の前に起きた問題に向き合っていこうと思えました。
- ・3名の講師のそれぞれ違うスタイルで社会に出て暮らしていて、どの方のお話も参考になりました。とても勉強になり、短い時間でも留守番できるようにする、自分で薬を飲ませる等の目標ができました。
- ・地元の先輩方の進路先や生活を詳しく教えていただけて、とても勉強になりました。将来のビジョンが 見えやすくなったので参加してよかったです。

ご参加くださった保護者の皆様、ありがとうございました。

7月24日(木) 9:15~11:40 ネットワーク支援会

障害基礎年金についての研修があります。どうぞご参加ください。

高等部では就業体験(2週間)を年3回行っています。今回は、校内実習の様子を紹介します。



~一日の流れ~ 校内実習では1日を通して作業を行います

# 【職業準備性ピラミッド】

校内実習では作業の基礎的な知識技能及び態度を身に付けるために、働くために大切なことについて学びます。職業準備性ピラミッドの優先順位をご覧ください。まずは知識技能を伸ばすための土台となる、課題に対し「素直に頑張る気持ち」や「体調を崩さないための心と体の健康管理」が重要です。自分の気持ちに折り合いをつけ、自分から「やってみよう」と思い、「できた」を積み重ねる体験を通して、働く態度や姿勢を育んでいます。

